



一人一人が笑顔で輝くために

くいばらき教育プラン
活力があり、県民が日本一幸せな県（R4年度～）
く茨城県の教育目標
○ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
○じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
○郷土を愛し協力しあう心を育てる

く本校の教育目標
夢や目標に向かって努力する、
心豊かなたくましい生徒の育成
～自分で考え方行動できる生徒～

くひたちなか市教育目標
夢、感動、笑顔がひろがる
教育のまち ひたちなか
○ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかいます
○じょうぶな身体をつくり たくましい心を養います
○家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
○ふるさとを愛し 協力しあう心を育てます
○世界に視野を広げ 国際人としての自覚を高めます
※本市学校教育推進のためのキーワード
夢 感動 笑顔

く求める学校像
「今日が楽しく、明日が待たれる
心の居場所がある学校」
○生徒が生き生きと楽しく学べる学校
～学ぶ喜びに「行きたい学校」～
○教職員・生徒・保護者・地域等が
共にある学校
～安心して「行かせたい学校」～

く求める生徒像
「心豊かで、自ら学び、自己実現に励む生徒」
おおしま
思いやりと優しさに満ちあふれた生徒
おおらかで、広い心と礼儀正しい生徒
使命感に燃え、実行力のある生徒
学ぶ意欲を高め、
根気強く最後までやり抜く生徒

く求める教師像
「夢を抱き、生徒と共に成長し、
信頼され尊敬される教師」
○情熱と使命感にあふれる教師
○常に自己研鑽し、指導力を高め、高い
専門性と豊かな人間性をもつ教師
○夢をもち、夢を語ることのできる教師
＜情熱・力量・人間力＞

スクールマニフェスト

- 授業改善を進め学力向上に努めます。
①主体的に授業に取り組んでいる80% ②授業がよくわかる80% ③家庭学習に毎日取り組む生徒90%
- 心の教育を推進します。
①いじめ重大事態と未解消〇 ②「基本的生活習慣等ができる」と答える生徒90%
③「学校が楽しい」と答える生徒90%
- 安心安全な学校・体力の向上に努めます。
①体力テスト(A+B) 56%以上 ②朝食摂取100% ③誤食事故、交通事故〇
- 保護者の皆様との連携に努めます。
①授業参観・学校行事への保護者参加率80%

本年度の重点課題及び努力事項

くわかる・できる喜びを>	く豊かな心の育成を>	くたくましいからだづくりを>	く生きる喜びの実感を>
1 基礎・基本の定着 ○体験的な学習や反復学習の実施 ○効果的な個別指導、少人数指導 ○家庭学習の習慣化 ○「学びの5か条」の定着 2 授業改善 ○探究を軸とした学びのスタイル ・課題解決重視型学習とICT活用 ○授業の工夫・改善 3 継続性を重視した教科経営 ○小中連携による学力向上対策 ○キャリア教育の充実	1 思いやの心の育成 ○自治的活動による Agency の育成（生徒の意見を尊重した魅力ある学校づくり） 2 明るい集団づくり ○互いに認め合い、支え合う人間関係づくり ○所属感や存在感が実感でき笑顔を創出する学級経営 ○集団を高めるリーダーの育成 3 生徒理解の推進 ○組織的生徒指導体制の構築 ○客観的な生徒理解の充実 ・i-check、生活アンケートの活用 ○チーム担任制の導入	1 体力の向上 ○保健体育の授業の工夫改善 ○部活動への積極的な取組 2 自己管理能力の育成 ○基本的な健康管理意識向上 ・感染症予防対策の励行 ・「早寝早起き朝ご飯」の推進 ○食育の充実 ・バランスのよい食事の推進 ・食物アレルギーへの対応 3 危機管理意識の向上 ○安全教育の充実 ○危機管理の確認と予防 ⇒ 危険箇所の把握・対応	1 特別支援教育の充実 ○ニーズに応える支援 ○個別の支援計画による共通実践と理解促進 ○保護者の思いの共有 ○校内支援委員会の充実 ○交流学級での協力推進 2 長欠対策 ○アセスメントシートに基づく早期の対応 ○長欠対策委員会の開催と支援計画作成 ○関係機関との連携と情報の共有 3 SDGsの意識向上 ○総合的な学習との関連付け

組織目標

- 探究を軸とした学びのスタイル改革⇒課題解決重視型学習とICTの活用
- 生徒の自己表出・自己表現により自己有用感を味わうことができる場の工夫

く職員研修の充実 ～ 教育公務員としての「意識向上」を～> ○ICT機器(タブレット、デジタル教科書、電子黒板)効果的な活用 ○教員評価、研修を生かした教師の指導力の向上と学校の活性化(研修：服務規律の確保、コソボライソス、体罰防止等) ○授業の工夫改善、危機管理の高揚(研修：学習の流れが分かる授業、課題と評価の提示、話合いの場の設定、危機管理) ○一人一授業公開、校内研修の定期的開催、他校や研修会等への積極的派遣
く働き方改革の推進 ～ 生徒と関わる時間の確保と教職員の心身の健康維持のために～> ○教職員一人一人の意識化の徹底・・・超過在校等時間月80時間ゼロ、月45時間以内の達成 ○月3回の定時退勤日の設定 ○校務用PC、C4thの有効活用(ペーパーレス化、会議の効率化)
く開かれた学校 ～ 保護者・地域との心の触れ合う連携、協力体制の構築のために～> ○積極的な情報提供(学校だより、学校ホームページ等)⇒定期的なアンケート調査と結果の公表 ○学校・保護者・地域との連携⇒コミュニティスクール(学校運営協議会の開催)の推進、教育ボランティア、外部指導者の活用
く服務規律の確保に向けた取組 ～ 信頼される教師であるために～> ○ボトムアップを中心としたコンプライアンス研修の定期的開催、教員評価にコンプライアンスの項目を設置、同僚性の高い職場環境の創造